

第38回日本ハンドセラピィ学会学術集会

# PowerPointを使用した動画

-音声有りスライド-

## 作成マニュアル

# 目次

---

- 最低限必要な機能 \_\_\_\_\_ P1
- スライド作成 \_\_\_\_\_ P2
- マイクの確認方法 \_\_\_\_\_ P3~5
- 注意事項 \_\_\_\_\_ P6~7
- Windows PowerPoint2016の場合 \_\_\_\_\_ P8~11
- Windows PowerPoint2019/office 365の場合 \_\_\_\_\_ P12~16
- MAC・PowerPoint for Mac 2019の場合 \_\_\_\_\_ P17~21
- 作成した動画をドロップボックスへアップロード \_\_\_\_\_ P22~23

# 最低限必要な機能

## 1.音声入力ができる環境

内臓マイクを使用すると設定が可能ですが、ノイズの影響が大きくなります。  
ヘッドセットなど、外付けのマイクの仕様を推薦します。

## 2.特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

Windowsの場合 : PowerPoint 2016,2019, office365

Macの場合 : PowerPoint for Mac 2019,office 365 のどちらかを推奨

# スライド作成

---

- ・ スライド作成要項に従い、Microsoft PowerPoint にてスライドを作成してください。
- ・ スライドサイズは、**ワイド画面（16 : 9）** としてください。
- ・ 一般演題の発表時間は **7分** です。

# マイクの確認方法\_windows

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。

1 : Windowsマークをクリック  
2 : 設定マークをクリック

3 : システムをクリック  
4 : サウンドをクリック

登録されていれば、  
繋げたマイクの  
名前が出ます

声を出した時に  
「マイクのテスト」  
に反応があります

設定

ホーム

設定の検索

システム

ディスプレイ

サウンド

通知とアクション

集中モード

電源とスリープ

バッテリー

ストレージ

サウンド

スピーカー (High Definition Audio デバ...

一部のアプリでは、カスタム出力設定を使用します。それらの設定はサウンドの詳細設定でカスタマイズできます。

デバイスのプロパティ

ボリューム

マイク (High Definition Audio デバイス)

入力

入力デバイスを選択してください

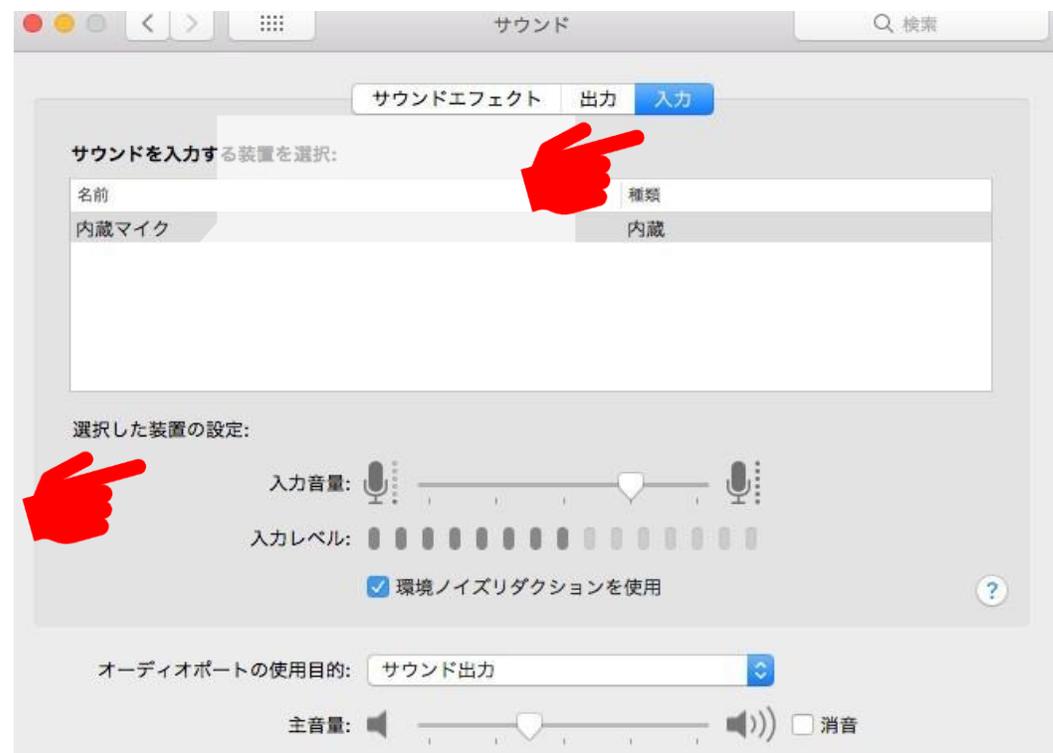
マイクのテスト

サウンド デバイスを管理する

# マイクの確認方法\_Mac

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし  
入力デバイスが登録されていることを確認します。

「選択した機器の設定」では試しに発言したときに反応するか確認します。



- Windowsでもカメラ付きのPCであれば、PC内臓マイクで録音は可能です。（使用PCの仕様書参照）
- USB以外でも4極のミニピンのマイクがあればそちらで録音も可能です。（スマートフォン購入時に付属してくるマイク付きイヤホンなど）（下記①②画像参照）
- 上記以外のWindowsのPCをご利用の場合、USB接続のマイクが必要です。
- MacのPCはマイクが内臓されておりますのでUSBマイクなどを使用せずに録音をすることも可能です。

①挿し口



②4極ミニピンマイク



# 注意事項

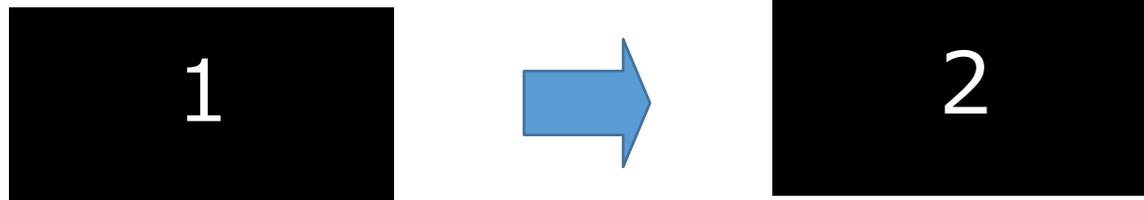
---

- 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。
- プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- カメラ機能が付いている場合はカメラをOFFにしてください。

# 👉 録音時のポイント

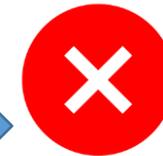
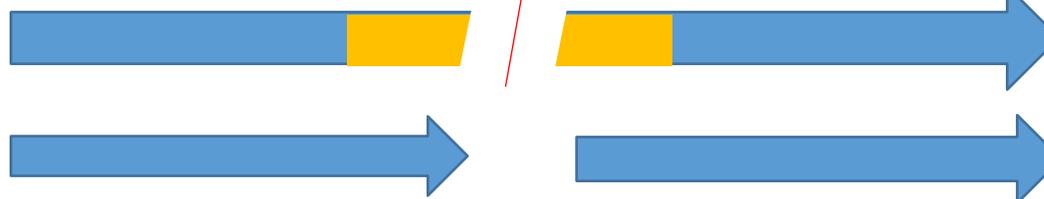
次のスライドに行く前に、**ひと呼吸！！**

次のスライドに進む際は、少し間を置いて、何も録音しない余白を作るように意識してください。



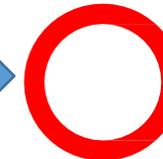
スライド切り替え時に途切れず話を続けてしまうと

次のスライドへ切り替わる間の録音  
は消えてしまう事があります



スライドが切り替わるたびに  
唐突に音声が途切れてしまい  
質の悪いデータとなってしまいます

スライド切り替え時は一呼吸おいていただくと



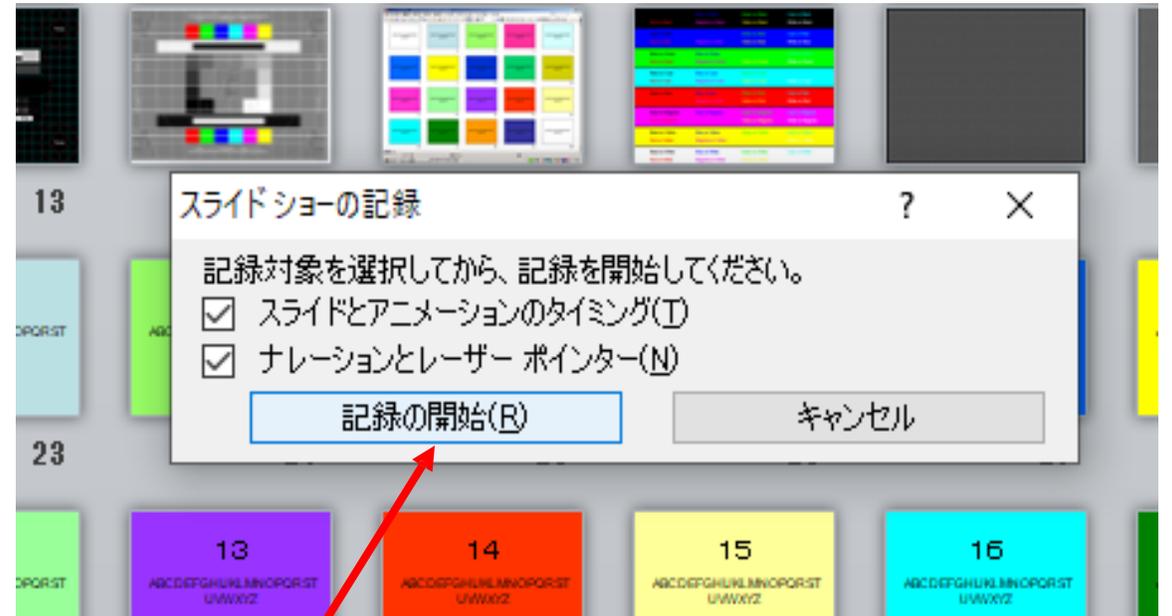
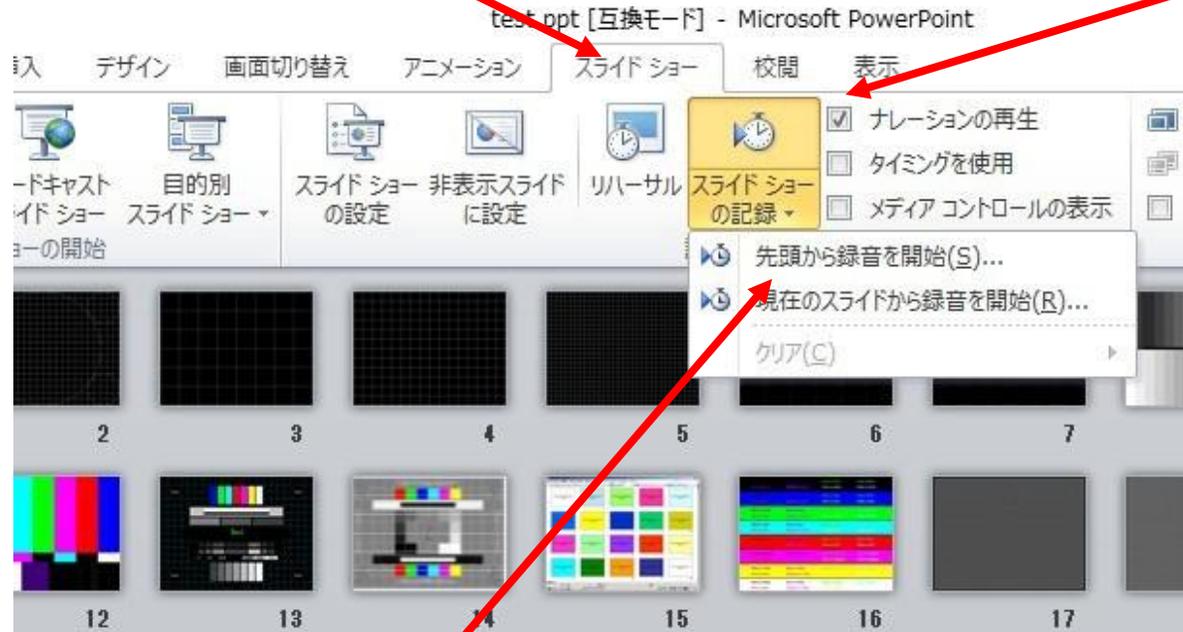
聞き取りやすいデータになります。

- ・いきなり全部を録音するのではなく、試しに1枚目だけの録音をして、実際の音量、音質の確認を！！
- ・音がゆがむ場合・自動的に音量が変化する場合：  
マイクのプロパティを確認し、「ノイズ制御」「音響エコーキャンセル」「オートゲインコントロール」  
「DCオフセット除去」など、音量の自動修正機能のチェックを外してみてください。

# Windows Power Point2016の場合

① : [スライドショー]  
タブをクリック

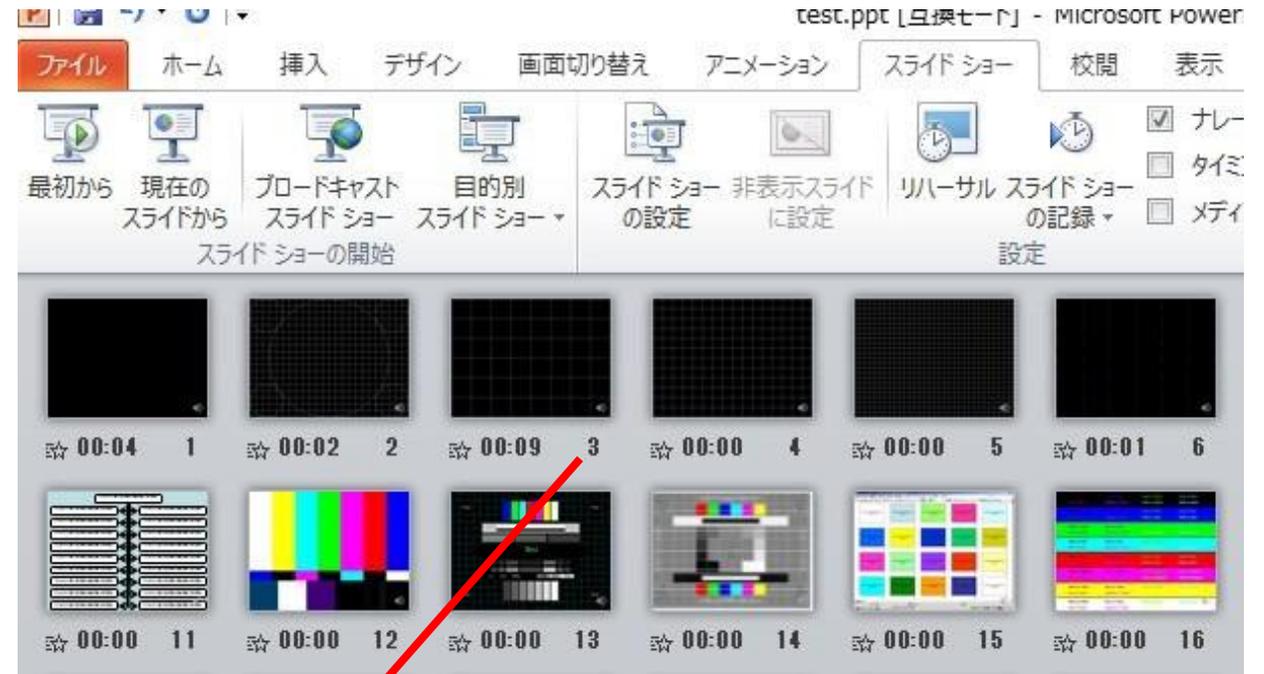
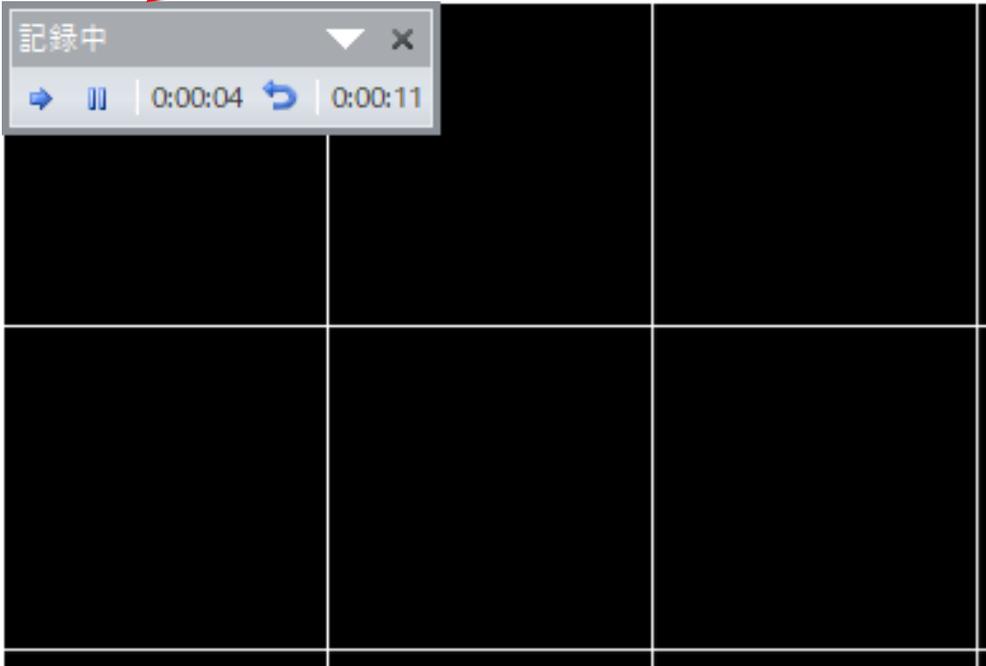
② : [スライドショーの記録を]  
クリック



③ : [先頭から録音を開始]  
をクリック

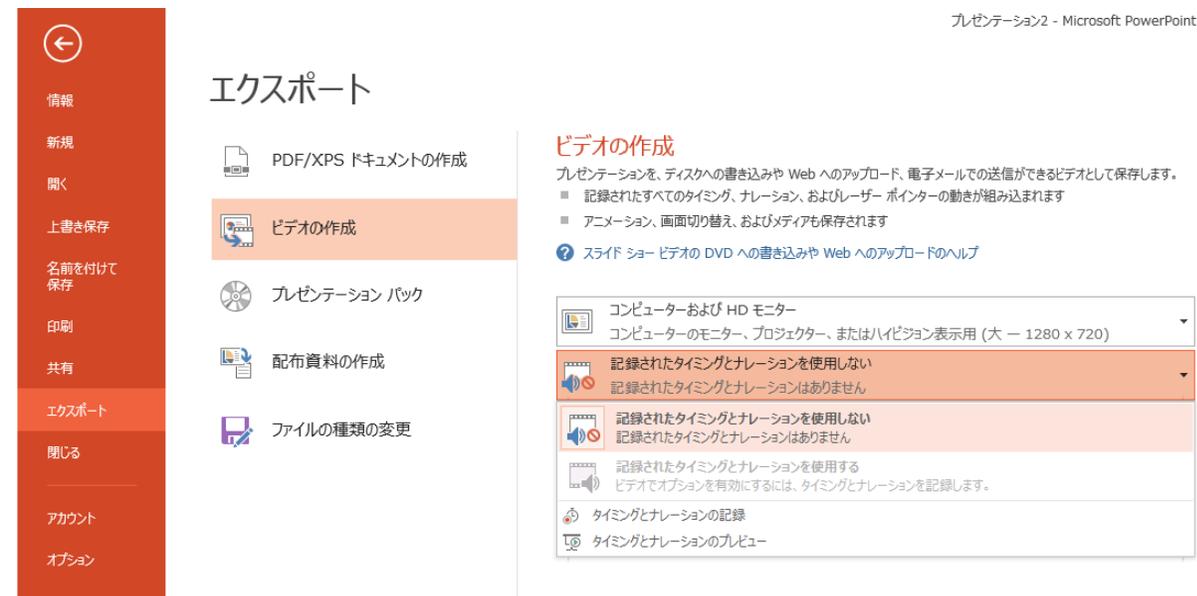
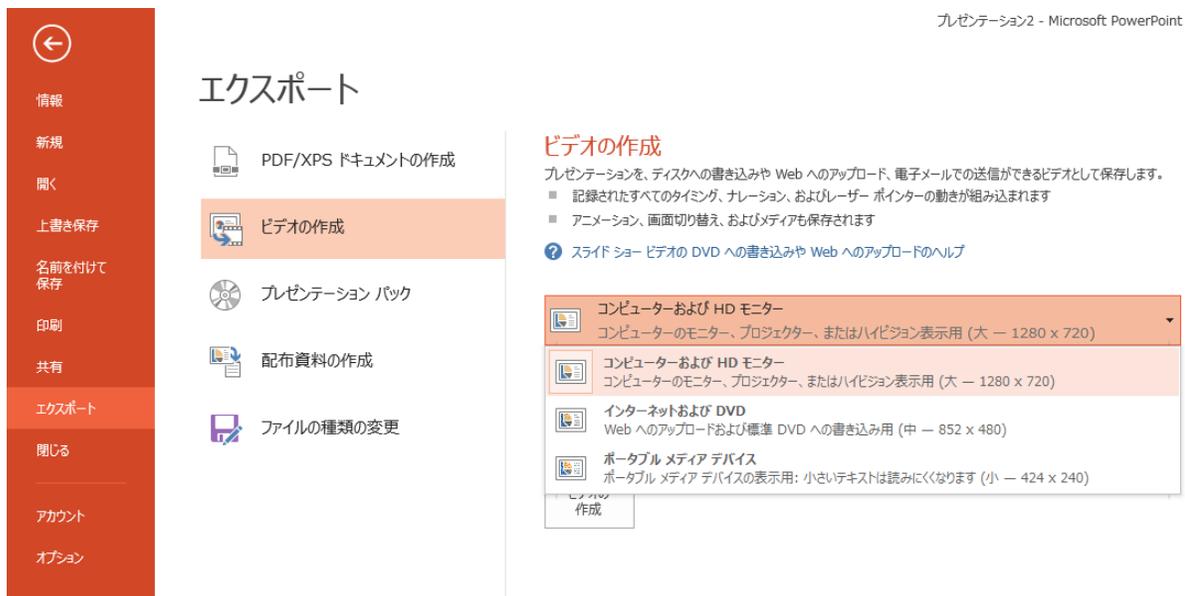
④ : [スライドショーとアニメーションのタイミング]  
[ナレーションとレーザーポインター] のチェックが  
入っている事を確認して記録の開始

⑤ : 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ : スライドショーを最後まで進めて終了。  
スライダー一覧表示にて、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。  
PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）する。  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題ないか確認。

⑦ : スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル] → [保存と送信] → [ビデオの作成] で書き出します。



ビデオ解像度は [1920×1080] を選択

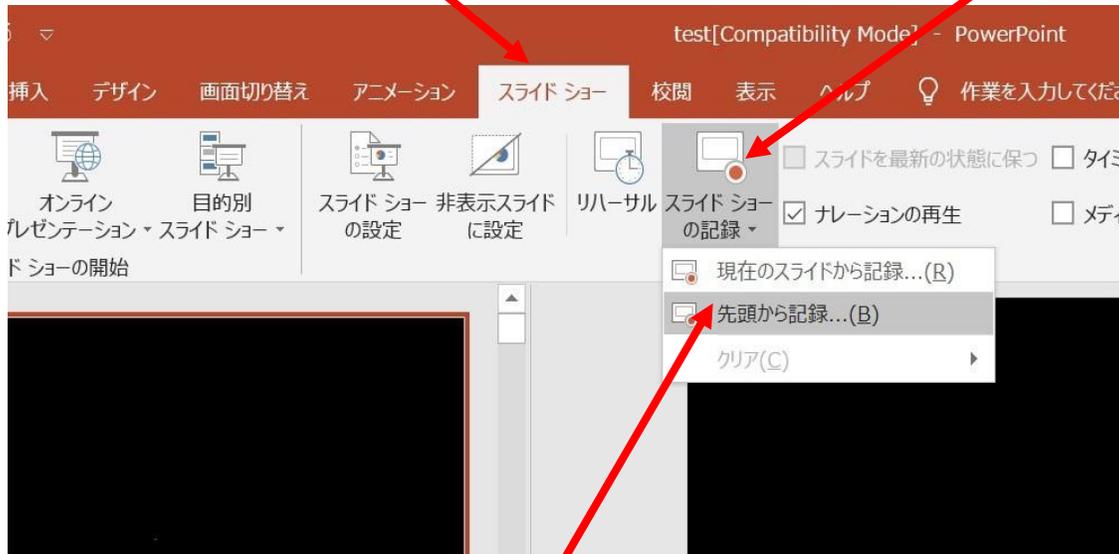
[記録されたタイミングとナレーションを使用する] を選択

- 最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。  
ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。
- ファイル名は「**演題番号\_ (半角アンダーバー) 氏名 例) O-I-2\_手外科太郎**」としてください。
- 右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
- 動画作成の進捗は、右下に表示されます。

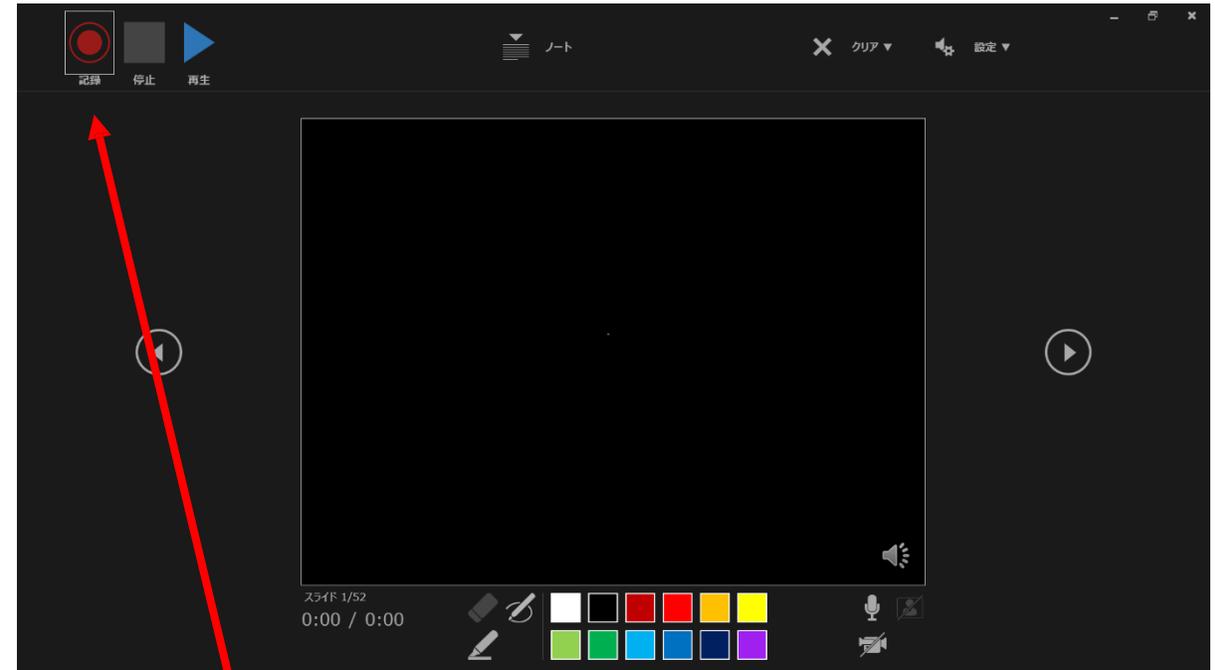
# **Windows PowerPoint2019/Office 365の場合**

① : [スライドショー]  
タブをクリック

② : [スライドショーの記録を]  
クリック



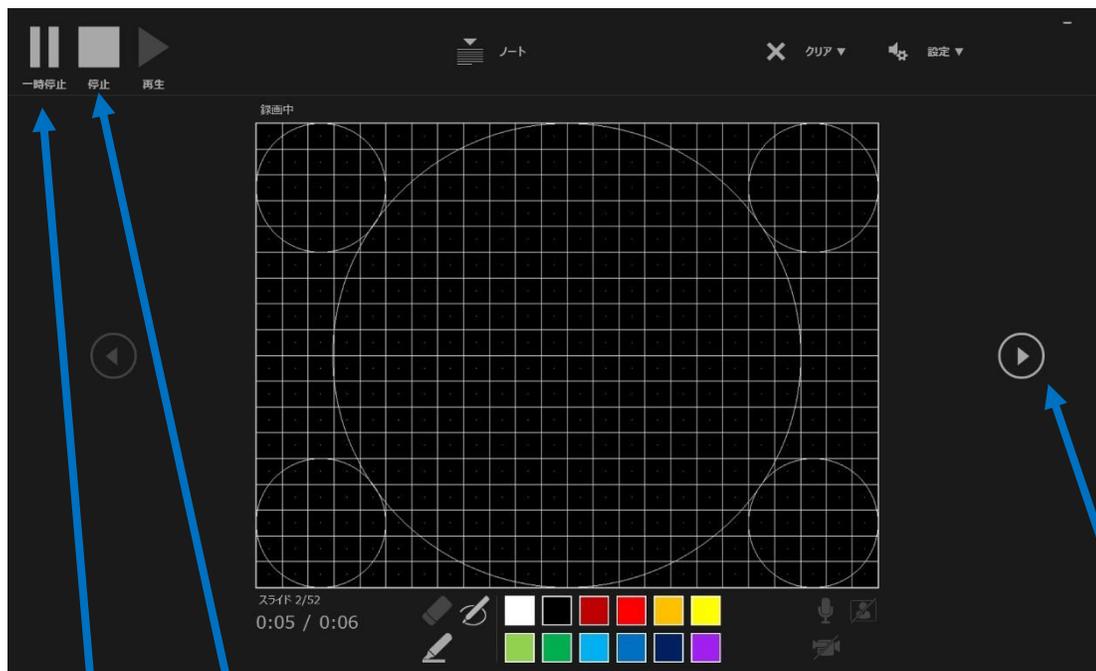
③ : [先頭から録音を開始]  
をクリック



④ : [記録の開始] をクリック

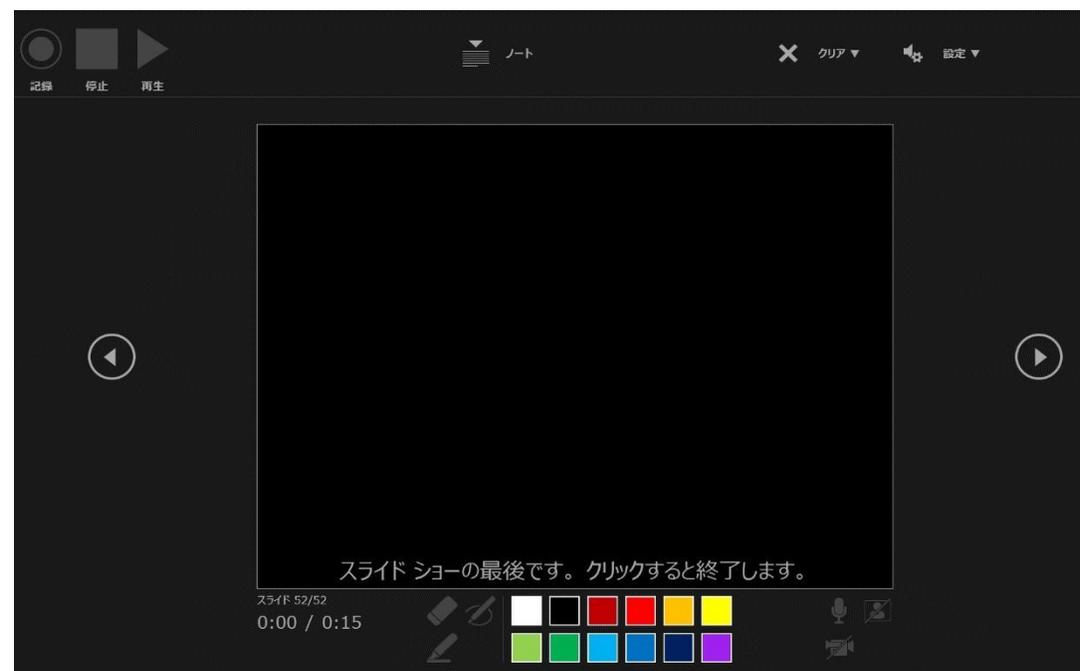
⑤ : マイクに向かってナレーション録音  
スライドも任意のタイミングで進める

⑥ : 下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。  
スライドをもう一枚進めると元の画面に戻ります。

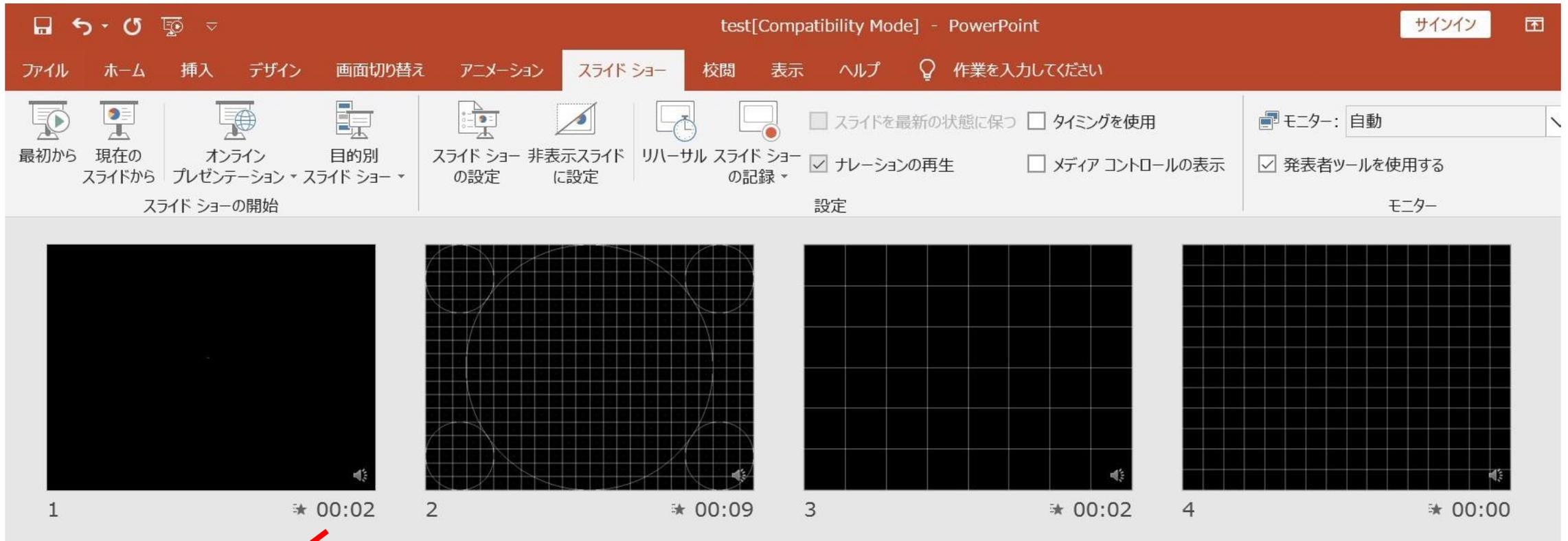


[記録の停止] をクリックすると  
そこまでの記録が残ります

[記録の一時停止] をクリックすると  
再生中のアニメーションが止まります



ここをクリックもしくは  
スライド上をクリックすると次の  
アニメーションに進みます

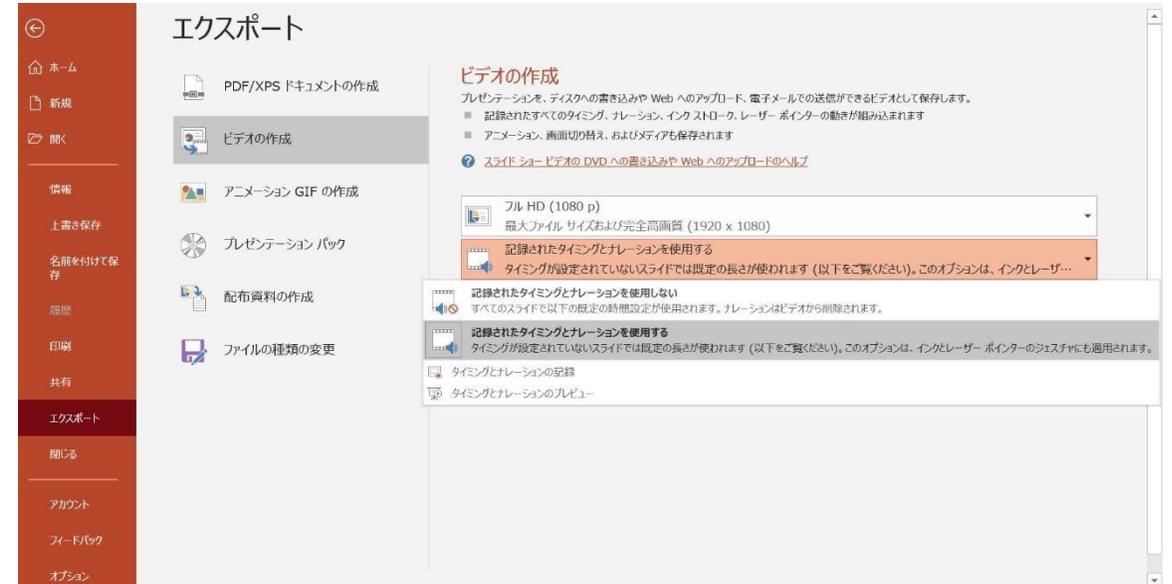


- ⑦ : スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。
- PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）する。
- 再度ファイルを開きスライドショーで確認して 音声やスライドのタイミング等問題ないか確認。

⑧ : スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。  
[ファイル] → [保存と送信] → [ビデオの作成]  
で書き出します。



ビデオ解像度は [1920×1080] を選択



[記録されたタイミングとナレーションを使用する] を選択

- 最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では**MP4形式**を選択します。
- ファイル名は「**演題番号\_ (半角アンダーバー) 氏名 例) O-I-2\_手外科太郎**」としてください。
- 右下の「**保存**」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
- 動画作成の進捗は、右下に表示されます。

# Mac PowerPoint for Mac 2019,2021の場合

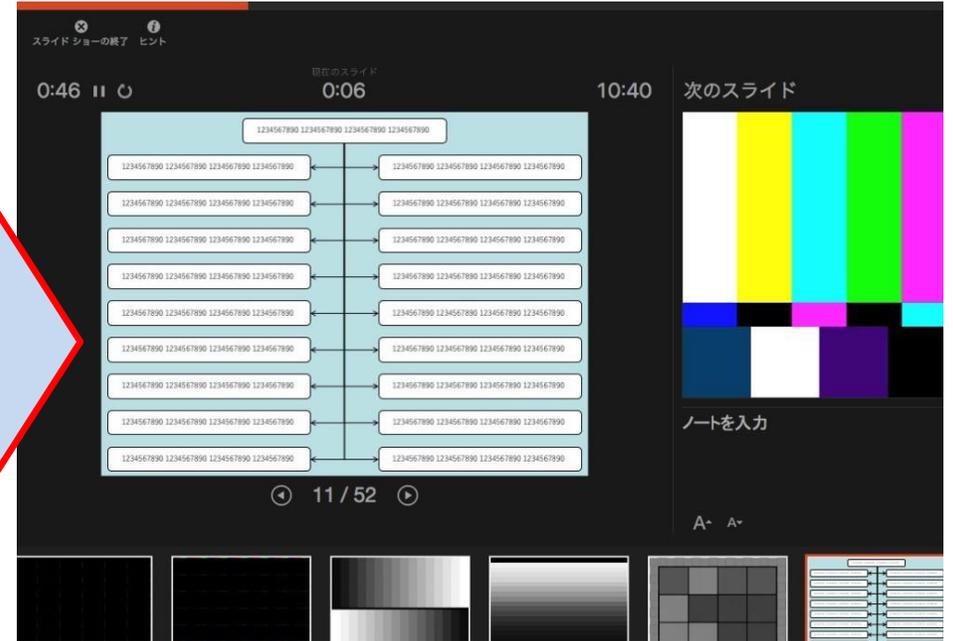
①PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。

「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。



1枚目が選択されている状態であればOKです。

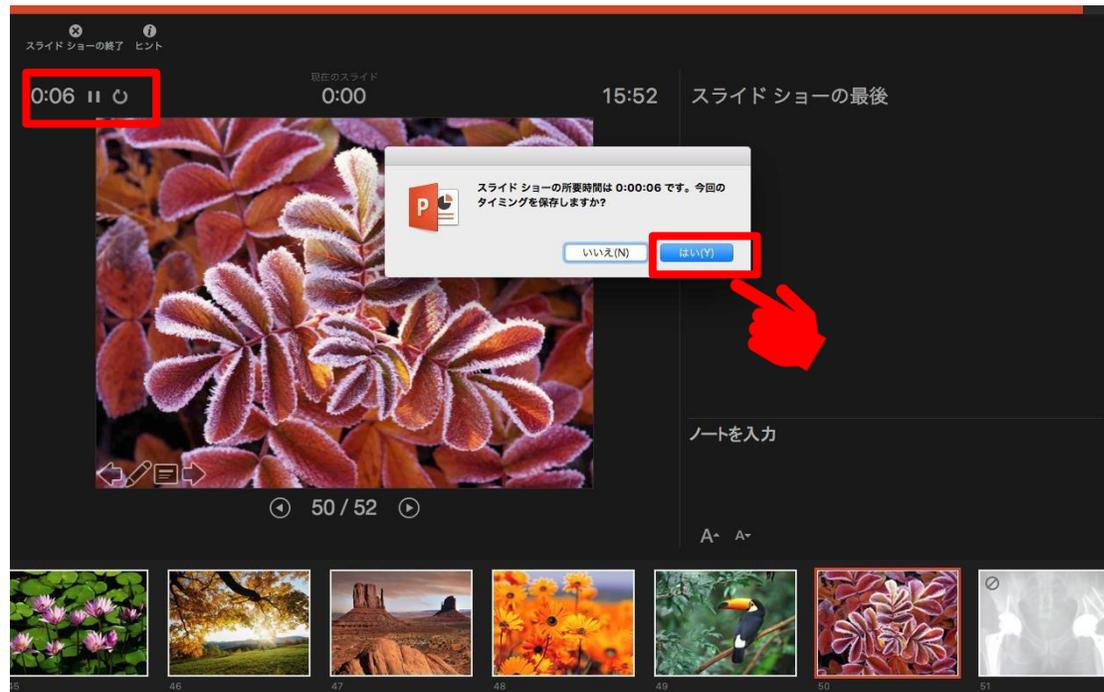
クリックすると画面が切り替わり、録画が開始される。



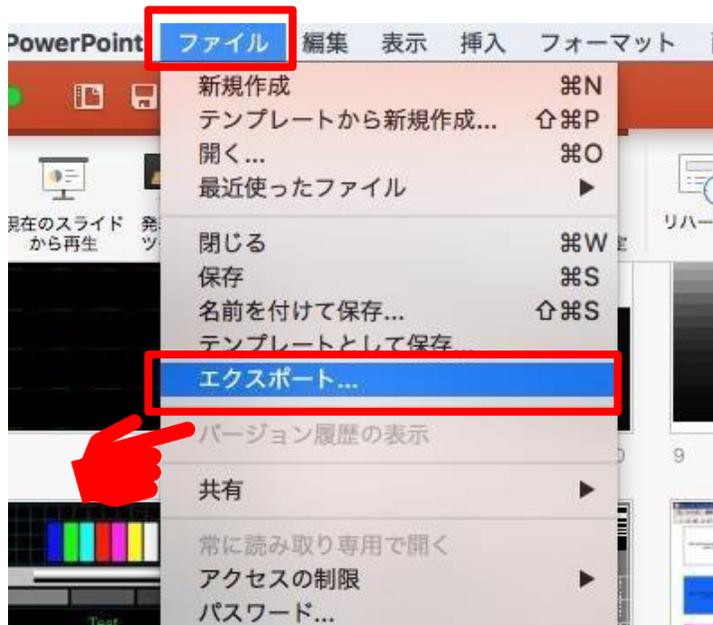
②通常通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、  
最終的に動画で記録されるのは**スライド移行のタイミングと音声のみ**です。

※前のスライドに戻ると、**戻ったスライド以降の録音を取り消される**事に注意してください。

③スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、  
「**今回のタイミングを保存しますか？**」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



- ④ 「ファイル」 > 「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。  
ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で**MP4形式**を選択すると、  
詳細が設定できるようになります。



- ファイル名は「**演題番号\_ (半角アンダーバー) 氏名 例) O-I-2\_手外科太郎**」として  
ください。

⑤画質は「プレゼンテーション品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。

※ 圧縮タイプは「H.264」「HEVC」どちらでもOKです。

「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



The screenshot shows a video export settings dialog box with the following options:

- 場所: オンラインの場所
- ファイル形式: MP4
- ビデオの圧縮タイプ: H.264
- 品質: プレゼンテーション品質
- 幅: 1920 高さ: 1080
- タイミング:  記録されたタイミングとナレーションを使用する
- タイミングをセットせずに各スライドで費やした時間 (秒): 5

Buttons: キャンセル, エクスポート